

議 会 日 誌

(本会議・委員会等)

月 日	件 名
5月18日 ～19日	委員会県外視察（議 会 運 営）
25日 ～26日	委員会県外視察（企 画 財 政） ” （産 業 労 働 企 業） ” （県 土 都 市 整 備）
26日 ～27日	委員会県外視察（福 祉 保 健 医 療）
28日 ～29日	委員会県外視察（総 務 県 民 生 活）
6月4日 ～5日	委員会県外視察（文 教）
8日	各 会 派 代 表 者 会 議 議 会 運 営 委 員 会
15日 ～7月3日	6 月 定 例 会

(その他)

月 日	場 所	件 名
4月20日	埼玉県	13都道府県議会議長会会議
5月11日 ～12日	東京都	関東甲信越1都9県議会議長会会議

- 個人の学習状況の可視化や、自分の考えをまとめる際にICTやデジタルツールを活用しており、個人の状況に応じた対応を行えるよう取り組んでいる。

【調査内容】

■ 聞き取り事項

- 同市では、学びの方針として「ナゴヤ学びのコンパス」を定め、「子ども中心の学び」を理念に掲げている。この理念に基づき、同校では「自律して学び続ける子ども」をテーマに校内研究を進めている。
- 「山吹セレクトタイム」は、「自律して学び続ける子どもたち」の育成を目指して実践している。こどもたちの主体性を育むとともに、得意なことを伸ばし、苦手なことは自分のペースでじっくりと学べるようにすることを狙いとしている。
- 単元の目標や各時間のゴール、学習内容を記載した「単元進度表」と、1週間の学習計画を示す「週計画表」を自ら作成し、自己選択・自己決定に基づいて主体的に学習を進めている。
- 単元の導入時には一斉授業を行い、単元のゴールを確認するとともに、既習事項や日常生活との関連を意識させることで、こどもたちの学習意欲を高めている。
- こどもたち同士で意見交換を行ったり、振り返りを共有したりする場を設けるなど、協働的な学びが実現できるよう工夫している。

■ 質疑応答

- Q 自身で勉強を進められるこどもと進められないこども、積極的に質問をするこどもとそうではないこどもがいる。学力の差は出ないのか。
- A こどもへの声掛けが基本にはなるが、担任が一人一人の性格や個性を把握してサポートしていく。一斉授業と比較するとこどもたちにすぐ声を掛けることができるので、学力の差は出にくいと考える。
- Q 「山吹セレクトタイム」によりカリキュラムを最後まで達成できるのか。
- A 単元導入時は一斉授業を行い、その後自身で学習を進めていく。単元によっては最後にまとめを行い、効率よく進めることができている。
- Q 授業は担任の教師が一人で行うものか。一人の場合、負担は大きくないのか。
- A 原則は一人である。「山吹セレクトタイム」を進めていくと、こども同士で学びあう協働的な学びも生まれていくため、徐々に担任の負担は減っていくと考えられる。